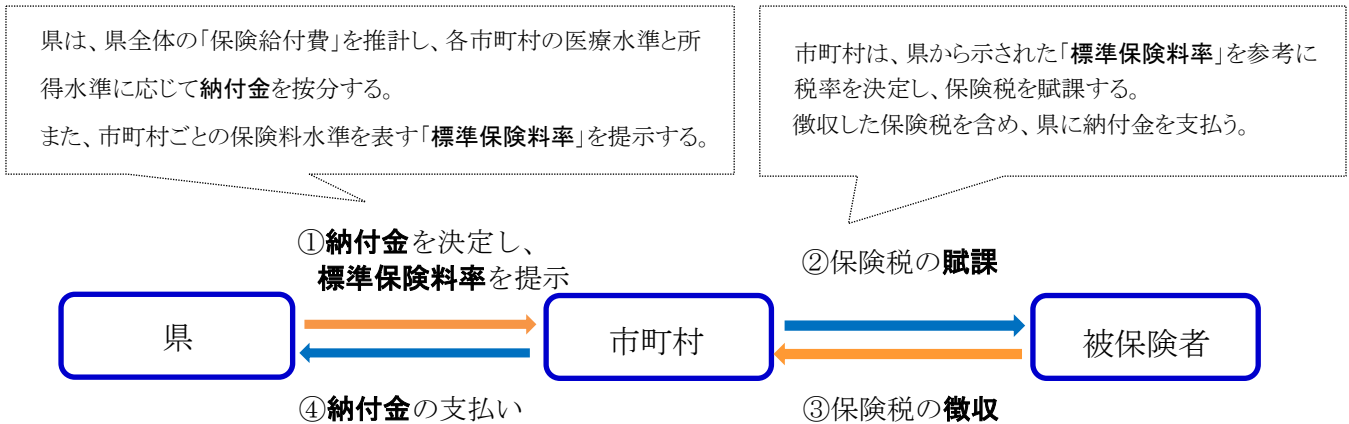


令和5年度の国民健康保険税について

1 国民健康保険制度の納付金（標準保険料率）と保険税の賦課・徴収の流れ



2 令和5年度の納付金について

(1) 本市の納付金の前年度比較

(単位：円)

区分	令和4年度	令和5年度	増減
医療給付費分	801,785,288	831,872,916	+30,087,628
後期高齢者支援金分	279,636,428	302,791,860	+23,155,432
介護納付金分	114,103,256	105,331,148	△8,772,108
計	1,195,524,972	1,239,995,924	+44,470,952

⇒今回提示された本市の令和5年度の納付金は、令和4年度に比べ、約4,400万円の増。

増の理由は、県の試算において一人当たりの保険給付費が上昇する見込みであること、また、令和4年度は、市町村の合意のもと決算剰余金を大幅に活用し、納付金の伸び抑制を行ったが、令和5年度は給付費の伸びを抑制する財源がなかったため。

【県の一人当たり保険給付費】

令和5年度（本算定）317,339円 対前年度 +8,821円（102.85%）

(2) 本市の一人当たり納付金（※）の推移

令和4年度（本算定）134,602円（51位） 対前年度 +7,878円（106.22%）

令和5年度（本算定）146,702円（49位） 対前年度 +12,100円（108.98%）

⇒一人当たり納付金とは、岩倉市が県に支払う納付金を被保険者数で除したものの。

【県の一人当たり納付金】

令和5年度（本算定）158,002円 対前年度 +13,186円（109.11%）

3 令和5年度の標準保険料率について（現行の税率と標準保険料率との比較）

区分	現行の税率①	標準保険料率②	増減 ②-①
所得割	10.10%	11.55%	+1.45ポイント
均等割	43,100円	51,695円	+8,595円
平等割	28,300円	31,615円	+3,315円

⇒現行の税率を標準保険料率に近づけるには、税率改正を行う必要がある。

4 令和5年度の税率設定にかかる繰越金の活用について

(単位：円)

区 分	集めるべき税額①	収納見込額②	不足額 ②-①
A案 改正なし（現行のまま）	1,060,335,920	888,627,775	△171,708,145
B案 標準保険料率基準		1,026,488,696	△33,847,224
C案 // +応益分を配慮		1,002,063,051	△58,272,869
D案 // +応益分をさらに配慮		979,116,507	△81,219,413

(B案) 所得割：小数点第二位四捨五入、均等割・平等割：100円未満四捨五入 (改定率：約16%)

(C案) 所得割：小数点第二位切捨て、均等割・平等割：1,000円未満切捨て (改定率：約13%)

(D案) 所得割：小数点第二位四捨五入、 (改定率：約11%)

均等割：現行から9%までの引き上げ、平等割：据え置き

- ・「集めるべき税額①」は、標準保険料率の税率及び収納率94.93%で県が算定したものの。
 - ・「収納見込額②」は、実際に集まる収納見込額で、過去3か年の平均91.69%で見込んでいる。
 - ・「不足額②-①」は、税率を設定した上で、不足額について繰越金を活用する額。
 - ・本市の収納率は、標準保険料率の収納率と約3ポイントの差があるため、標準保険料率と同じ税率にしても収納率の差による収納不足額は、約3,400万円程度となる。
- ⇒D案の場合、一人当たりの繰越金活用額は、9,609円。

5 令和5年度の国民健康保険税（案）について

令和3年度、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響による景気や雇用の悪化等の状況を考慮し、繰越金を活用して税率を据え置いたが、令和5年度は、県全体の保険給付費の上昇から県への納付金が大幅に上昇していること、また、本市税率と標準保険料率との乖離及び繰越金の残額状況から、標準保険料率を踏まえた増額改正を行う。

標準保険料率に合わせる場合（B案）、改正率は16%程となるため、繰越金を活用し、激変緩和として、上げ幅を標準保険料率と現行の差の2分の1程度にするよう改定率を11%程度に抑える。

なお、低所得者の上昇に配慮するため、均等割・平等割の上昇を抑えた改正とする（D案を採用）。

【改定率の例：1人世帯（40歳以上）の場合】

7割軽減適用者：5.6%、5割軽減適用者：9.6%、2割軽減適用者：9.9%

6 今後の繰越金の活用について

(単位：千円)

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
繰越金	222,301	216,153	146,586（見込）	65,367（見込）	31,367（見込）
活用額	51,270	69,567	81,219(案)	34,000(案)	0
税率改正	据置	据置	増額（予定）	増額（予定）	増額（予定）

繰越金は一時的な支出に対応するため、一定程度は確保したいと考える。